

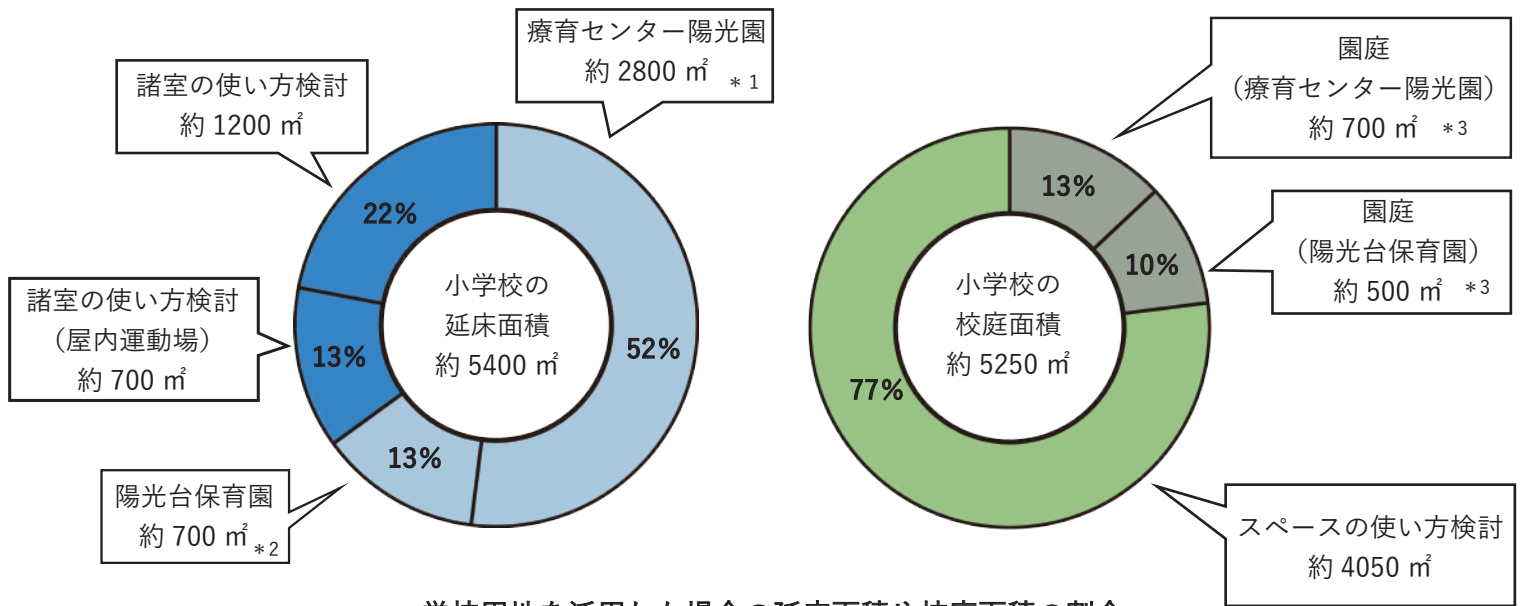


光が丘地区では、療育センター陽光園、陽光台保育園など子どもに関する地区内の公共施設の多くが築40年以上を経過しており、建て替えを検討する時期となっています。その中で今後閉校予定の青葉小学校の学校跡施設を「避難所としても使える、子どもや地域の活動の場」を基本とした利活用を検討することを目的に、昨年度の市民対話ワークショップを踏まえて、全4回の市民検討会を行っています。

公共施設の検討状況

既存ストックを活用した跡地活用の検討

- *療育センター陽光園、陽光台保育園で、現在の小学校の延床面積のうち、約65%を活用する見込みです。
- *それ以外の約35%の諸室の使い方（屋内運動場を含む）や、校庭等の活用方策について、市民参画等を踏まえて検討していきたいと考えています。



学校用地を活用した場合の延床面積や校庭面積の割合

- * 1：市療育センター再整備基本計画における検討状況による暫定面積
- * 2：現状の保育園の面積
- * 3：現状の園庭面積

検討パターン①

- B棟：市民活動機能
- A棟・C棟：
療育センター陽光園・保育園

検討パターン②

- A棟半分：市民活動機能
- A棟半分・B棟・C棟：
療育センター陽光園・保育園



11月13日に第2回市民検討会を開催しました！

第2回市民検討会は「テーマごとに考えよう」をテーマに行いました

ワークの内容

ワーク：テーマを絞って、市民活動機能などを考えよう

テーマごとにグループを分け、基本構想の5つの方針の視点ごとに必要な機能を考えました。

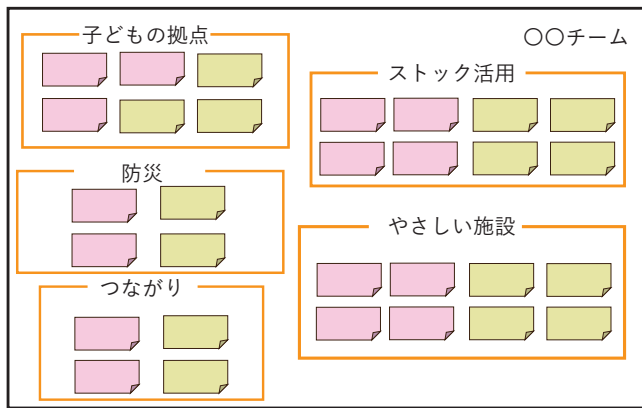
利活用基本構想にある5つの方針

- 1, 地域とともに子どもを育む拠点として活用します。
- 2, 災害時の拠点として活用します。
- 3, 地域の魅力やゆるやかなつながりを大切にします。
- 4, 青葉小学校のストックを大切にします。
- 5, 時代に即したやさしい施設にリニューアルします。



第1回の検討会の意見からピックアップ

新しいアイデア



第2回目ワークの結果

校庭チーム

校庭・くすの木周辺・ビオトープ

校庭で子どもが自由に遊べるようにしたい！

1回目のアイデア

新しいアイデア



子ども

ボール遊び（野球、サッカー等）ができるスペースを確保したい！

保育園の園児の遊ぶスペースと小学生以上が遊ぶスペースを区別したほうが良い

ビオトープを整備して子どもたちが虫を探せる場所として残したい

地域の魅力・つながり

くすの木を中心にイベントがしたい！

屋上に行ける階段を作って、屋上を地域の人と子どもが野菜づくりができる場所に

なかよし広場と小学校側とのつながり、門や道路の整備

住民への配慮

桜の木を残したい！けど、難しい…？

駐車場スペースもあると良い

防音対策として、グラウンド周辺（民家との間）に木をたくさん植える



こどもワークショップで聞いてみたいってことがたくさん思い浮かぶ議論が展開していました。例えばこの場所を使うときに、クラブ等の団体としての活動と、もっと気軽に遊びの延長で日頃から使える状況を考えて、それぞれの活動の時間をきちんと想定してあげたいというアイデアがありました。これを子どもたち目線で考えたらどうなのか、平日と休日の使い分けや、時間帯での使い分けなど、子どもたち自身がどう考えるのか、興味を持ちました。



讃岐先生

体育館チーム

体育館・プール・
なかよし広場

1回目のアイデア

新しいアイデア

体育館を地域のために最大限に活かしたい！



子ども

雨の日の活動場所としても利用できるように

お母さんたちが子育ての悩みを共有できる場に

月に1,2回中学生が吹奏楽のコンサートをここでできると良いのでは！

災害

屋上にソーラーパネルを設置したら発電機が少なくて済む？

ふれあい広場を平らにして、テントを張って避難場として活用する

地域の魅力

3世代交流！ペタンクができたらいいな

やさしい

正門から安全安心に子どもたちを送り迎えできるように

校庭側からのアプローチにはバリアフリー対応

地域の課題

近隣住宅に対する騒音対策が必要！一緒に解決してお互い我慢しないようにするには？

特に体育館の使い方の実態としての多様さとか、広いからこそその使い良さなどから、地域としても大切にしたい施設なんだというメッセージが伝わってきました。また、近隣住宅への音配慮の問題や、正門から遠いというアプローチの問題に対する認識を共有頂きました。今ある体育館の配置をしっかりと認識して課題解決するための糸口をきちんと整理したことが、この班の議論の成果だったのではないのでしょうか。



讃岐先生

諸室チーム

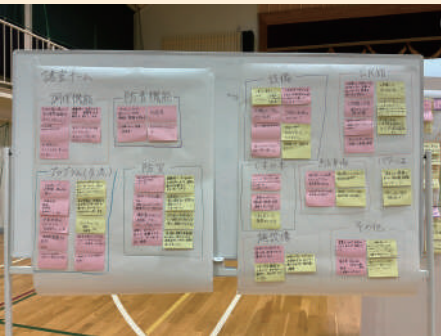
(くすのきチーム)

療育センター陽光園と陽光台
保育園が使用する以外の諸室

1回目のアイデア

新しいアイデア

いろんな場面で使える、居心地の良い場所にしたい！



調理機能

子どもを育む場として子ども食堂、居場所づくり

普段から炊き出し等の体験イベント！災害に強い地域になると安心

防音機能

大きな声を出してもいいような環境づくり。やりたいことが安心してできる機能、設備を考える

プログラム (交流)

子どもから大人まで共有利用できるような広い図書室があると良いな

各利用者からの情報発信を共有できる工夫を考えるととってもつながれると思います

防災

障害がある方が安心して避難できるスペースや工夫がほしい

設備

空調設備は絶対必要！災害時の非常用電源の確保は各家庭だと難しいのでそこに投資してほしい

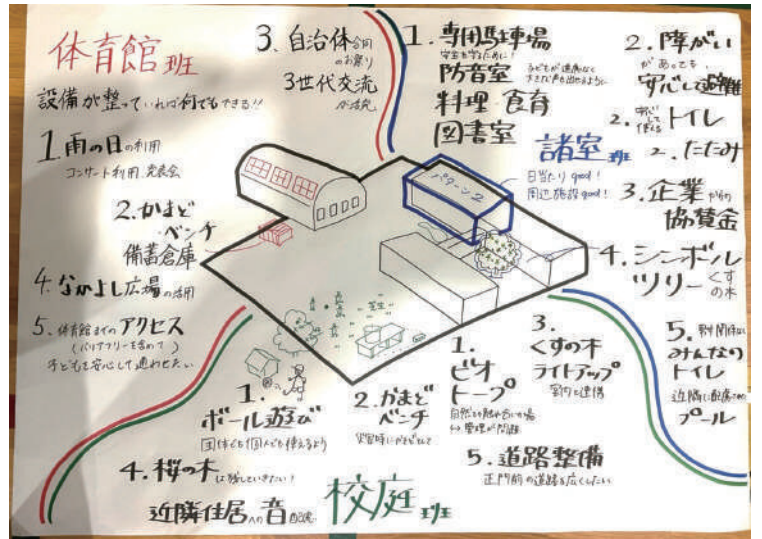
くすの木

イベントを行い、フリーマーケットや出店などを出し収入源にする

「青葉小として大切にしたいものを共有することが大事」だという言葉こそが大事だと思います。つまり、この場所のあり方、使い方の具体的なビジョンを共有することが大事だというメッセージです。また、図書室の使い方のアイデアがありましたが、これは今回の基本プランからもう少し掘り下げて機能配置、部屋の割り振りを考えることの必要性に気付く良いきっかけになったかと思っています。



讃岐先生



讃岐先生



東京都立大学建築学科で助教を務める。専門は都市計画。多数の自治体で公共施設再編アドバイザーや市民ワークショップの講師を担っている

発表の場面ではあまり表に出てこなかった議論として「ふれあい広場や公民館とのつながり」があったかと思えます。模型製作の際に学生スタッフが敷地の外側まで丁寧に作ってくれたように、皆さんの意識・議論には、小学校の敷地の外側まで気を配っていただけるわけです。地域の中の施設であり、つながり方のデザインがとても大事であるという意識を、改めて次回以降にも発揮して議論していただくと嬉しいです。また、子どもたちに「どう思う？どう考える？」と聞いてみたいアイデアもたくさんありました。こどもワークショップでの議論にもぜひご期待ください！

次回予告

1月14日(土) 14:00～

会場：光が丘公民館

「テーマごとに考えて、成果をまとめよう！」

第2回までの成果などを踏まえ
テーマごとに考えをまとめる

～これまでの取組について～
相模原市ホームページ>トップページ>中央区>光が丘地区の公共施設再編に向けた取り組み

